

# 平成 27 年度国立情報学研究所実務研修報告書

平成 27 年 8 月 31 日  
筑波大学附属図書館情報管理課  
浅野 ゆう子

## 目次

- 1 研修目的
- 2 研修先および研修期間
- 3 研修内容
  3. 1 研修スケジュール概要
  3. 2 研修日程
  3. 3 研修内容
- 4 研修成果
- 5 受入体制・研修環境
- 6 研修を終えて
- 7 添付資料

### 1 研修目的

図書館連携・協力室（JUSTICE 事務局）において、出版社との交渉等のコンソーシアム業務を経験することを通じ、電子リソースに対する理解を深めることを目的とする。また、「電子リソースの利用統計の収集・管理および活用方法に関する調査」を研修テーマとして設定し、国内大学の現状等を調査の上検討を行う。

### 2 研修先および研修期間

研修先：国立情報学研究所 学術基盤推進部 図書館連携・協力室  
研修期間：平成 27 年 6 月 1 日（月）～平成 27 年 8 月 31 日（月）

### 3 研修内容

#### 3. 1 研修スケジュール概要

平成 27 年 6 月

- ・学術コンテンツ課および JUSTICE 事務局の事業・業務を理解する。
- ・出版社との打ち合わせ・交渉へ参加し、議事メモを作成する。（研修期間中は随時）
- ・JUSTICE 作業部会委員に対し、利用統計の収集と活用に関するアンケート調査を行う。

平成 27 年 7 月

- ・アンケート調査を取りまとめる。
- ・他大学への聞き取り調査を行う。

平成 27 年 8 月

- ・ 調査内容をまとめ、NII 学術基盤推進部主催の実務研修成果報告会に向けて発表資料を作成する。
- ・ 実務研修成果報告会で報告を行う。

### 3. 2 研修日程

第 1 週 (6/1～6/5)

実務研修開講式，諸手続き，オリエンテーション，研修テーマ検討，JUSTICE 会費徴収に関する打合せ，出版社交渉 2 件，Web ページ更新

第 2 週 (6/8 ～6/12)

平成 27 年度第 1 回 JUSTICE 運営委員会および広報作業部会，出版社交渉 3 件，広報作業部会議事要旨作成，国立情報学研究所学術情報基盤オープンフォーラム聴講

第 3 週 (6/15 ～6/19)

研修テーマに関する打合せ，出版社交渉 1 件，国立大学図書館協会総会（熊本市）参加（JUSTICE ブース出展）

第 4 週 (6/22 ～6/26)

出版社交渉 7 件，出版社交渉メモ作成，利用統計に関するアンケート送付

第 5 週 (6/29 ～7/3)

出版社交渉 3 件，出版社交渉メモ作成，JUSTICE 会費請求書送付準備作業，サンメディア学術情報ソリューションセミナー参加

第 6 週 (7/6 ～7/10)

利用統計に関するアンケート集計，出版社交渉 2 件，出版社交渉メモ作成，京都大学での聞き取り調査，JUSTICE 電子資料契約実務研修 in 京都参加

第 7 週 (7/13 ～7/17)

出版社交渉 5 件，出版社交渉メモ作成，早稲田大学での聞き取り調査

第 8 週 (7/21 ～7/24)

出版社交渉 2 件，出版社交渉メモ作成，慶應義塾大学での聞き取り調査，東京工業大学での聞き取り調査

第 9 週 (7/27 ～7/31)

出版社交渉 1 件，出版社交渉メモ作成，研修テーマ進捗打合せ

第 10 週 (8/3 ～8/7)

出版社交渉 3 件，実務研修成果報告会資料作成，研修テーマ進捗打合せ

第 11 週 (8/10 ～8/14)

(夏季休暇)

第 12 週 (8/17 ～8/21)

出版社交渉 2 件，実務研修成果報告会資料作成，研修テーマ進捗打合せ，第 2 回 JUSTICE 広報作業部会

第 13 週 (8/24 ～8/28)

実務研修成果報告会資料作成，研修テーマ進捗打合せ，実務研修成果報告会，私立大学図書館協会総会（横浜市）参加（JUSTICE ブース出展，研究大会聴講）

第 14 週（8/31）

実務研修報告書作成，実務研修閉講式

### 3. 3 研修内容

- ・ JUSTICE 事務局業務
  - 出版社との交渉への参加と記録
  - 会議・関連行事の運営・参加
- ・ 電子リソースの利用統計の収集・管理と活用方法に関する調査
- ・ 各種セミナーへの参加

### 4 研修成果

#### ・ JUSTICE 事務局業務

- 出版社との交渉への参加と記録

研修期間中は，JUSTICE 事務局と出版社との交渉に毎回同席した。研修中に 31 回の交渉があり，コンソーシアムとして交渉を進める過程や考え方を直に学ぶことができた。大小様々な出版社の担当者との交渉の現場に立ち会えたことで，各製品の内容や契約形態，価格の設定の考え方やその背景について学ぶことができたほか，現在の国内外の電子リソースをめぐる状況を様々な角度から概観でき，非常に有意義な経験となった。各大学から交渉作業部会委員が参加しての交渉もあり，公私立大学を含む様々な大学の立場からの話を聞いたことも非常に勉強になった。また，交渉後の記録をまとめることによって，交渉の過程で出たトピックについてより深く理解する助けとなった。

- JUSTICE 関連行事の運営と参加

JUSTICE 運営委員会・作業部会の会議に参加し，JUSTICE の運営に関わる業務についても学ぶことができた。JUSTICE の現在の活動状況や課題となっていること，また，それぞれの活動に各大学の運営委員や作業部会委員がどのように関わっているのかを理解することができた。7 月 10 日には，地方で初めて開催した「JUSTICE 電子資料契約実務研修会 in 京都」にスタッフとして参加し，関西地区の会員館の担当者が実行委員となって研修会の運営に積極的に携わっている様子からも大きな刺激を受けた。研修会の中でも活発な議論が行なわれ，他大学が現在直面している課題が明らかになり，学ぶことが多かった。

#### ・ 電子リソースの利用統計の収集・管理と活用方法に関する調査

個別テーマとして設定した電子リソースの利用統計に関する調査では，統計に関する基礎的な情報を収集して知識を整理することと並行し，他大学の現在の利用統計の収集・管理方法及び活用方法に関してアンケート調査および聞き取り調査を行った。現在の日本の大学における利用統計の活用状況・管理方法の状況を概観し，いくつかの活用のパターンを明らかにすることができた。公私立大学も含む複数の大学からアンケートや聞き取り調

査を行ったことで、統計を利用するに当たっての前提となる、電子資料の選定方法や費用負担のあり方などに関して様々な様態があることを学ぶことができた。各大学の担当者の方から統計についての様々な意見を聞くことができたのも非常に参考になった。

#### ・各種セミナーの受講

研修期間中に行われた所内外主催のセミナー等に出席する機会をいただき、現在の学術情報流通に関する最新の動向を学ぶことができた。6月11日に行われた国立情報学研究所の学術情報基盤オープンフォーラムでは、オープンサイエンスの最新の動きについて様々な側面から学ぶことができた。

### 5 受入体制・研修環境

- ・ NII からの通勤圏内であったため、住居・通勤に関しては問題はなかった。
- ・ 席は図書館連携・協力室に用意していただき、疑問点があればいつでも質問ができる体制をとっていただいた。
- ・ 研修テーマについては、初日から成果報告会までの間に何度も JUSTICE 事務局の方々に相談に乗っていただき、アドバイスを参考にしながら資料をまとめていくことができた。研修期間が短かったため、テーマについて事前に相談することができればより計画的に検討を進めていけたのではないかと感じている。

### 6 研修を終えて

3ヶ月という短い期間ではあったが、大変貴重な経験をさせていただいた。JUSTICE 事務局の業務を体験し、我々が大学の担当者として契約しているコンソーシアム向けの提案が実際にどのような交渉を経て合意に至っているのか、より深く理解することができた。また、出版社や他大学の担当者からの生の情報に触れることができ、国内外の電子リソースの状況の変化について生きた知識を得ることができたと感じている。

個別研修テーマとした利用統計に関する調査においても、テーマ決定から発表資料作成まで試行錯誤する中で多くを学ぶことができた。

また、直接業務に関わったわけではなかったが、国立情報学研究所日本の大学図書館にとって非常に重要なサービスを展開している組織の中に身を置くことができたことで、現在の大学図書館と国立情報学研究所との関係についても考えるきっかけとなった。今後も、この研修で得た知識や経験を活かして業務に取り組んでいきたい。

### 7 添付資料

- ・平成 27 年度国立情報学研究所実務研修報告

(実務研修生発表会 平成 27 年 8 月 26 日 (水) 発表資料)